

仕 様 書

[illegible]

特 記 仕 様 書

第1章 総則 第1節

適用

- 1 本特記仕様書は、三原市久井町江木 河川浚渫工事（準用河川吉田川）に適用する。
 - 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・ **土木工事共通仕様書（令和6年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）**
- ※ 土木工事共通仕様書は「広島県の調達情報」に掲載している。
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>
・ その他関連規格類

第2節 法令及び条例等の遵守

- 1 次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること。
 - (1) 工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は、受注者が行うべき『法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件』
 - (2) 上記(1)の内容について『不測の事態等が生じた場合の対応方法』
 - (3) 上記(1)、(2)の内容について『現場作業に従事する者に対する周知の方法』
- 2 「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。
- 3 『法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件』等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、変更施工計画書を提出すること。

第3節 建設副産物

本工事における建設副産物については、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

- 1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画
受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。
- 2 計画の掲示及び公表
受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。
現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。
https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm
- 3 実施書の提出
受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

- 4 工事現場の管理体制
受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。
- 5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成
受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。
※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。
 - (1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壤汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
 - (2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項
ア 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。
イ 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
 - (3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項
- 6 運搬業者への通知
受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。
- 7 確認結果票の掲示及び公表
受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。
- 8 確認結果票の保管
受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。
- 9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求
受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。
 - (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
 - (2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
 - (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
 - (4) 建設発生土の搬出量
 - (5) 建設発生土の搬出が完了した日
- 10 建設発生土の搬入元への受領書の交付
受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。
- 11 受領書の内容確認
受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。
- 12 受領書の保管
受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

第2章 施工条件

第1節 用地

- 1 現場の復旧
原形復旧とする。

第2節 公害対策

- 1 粉じん対策
内容 清掃作業において粉じんが飛散する場合は、粉じん防止の散水等を随時行うこと。
期間 土砂積込作業

第3節 建設副産物

- 1 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積））（指定処分（A））
当該工事により発生する建設発生土は、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積）のいずれかに搬出するものとする。
また、積算上の搬出先として、建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積）のうち、運搬費と受入費の合計が最も経済的になる次の施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。
搬出場所 シンクコンサルタント(株)久井町泉再資源化施設
なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積）への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議の上、設計変更の対象とする。

第3章 工事保険等

- 1 工事保険等
受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に参加しなければならない。また、加入した保険等については、保険証券の写し（保険以外の場合はそれに代わるもの）を監督員に提出すること。なお、加入に必要な保険料等は、設計で現場管理費に見込んでいる。
- 2 法定外の労災保険 の付保
(1) 受注者は、本工事に従事する者の業務上の負傷等に対する補償に必要な金額を担保するための保険契約（以下「法定外の労災保険」という。）を付保しなければならない。
(2) 受注者は、建設工事請負契約約款第54条（火災保険等）に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又なこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
(3) 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第4章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
築堤・護岸		式		1	レベル1
河川土工		式		1	レベル2
掘削工		式		1	レベル3
掘削	土砂 標準 土留方式無し 障害無し	m3		300	レベル4
埋戻工		式		1	レベル3
埋戻	土砂	m3		70	レベル4
残土処理工		式		1	レベル3
仮設工		式		1	レベル2
工事用道路工		式		1	レベル3
* * 直接工事費 * *					
運搬費					
運搬費		式		1	レベル2
運搬費		式		1	レベル3
仮設材運搬費		t		68.2	レベル4
共通仮設費率分					
* * 共通仮設費計 * *					
* * 純工事費 * *					

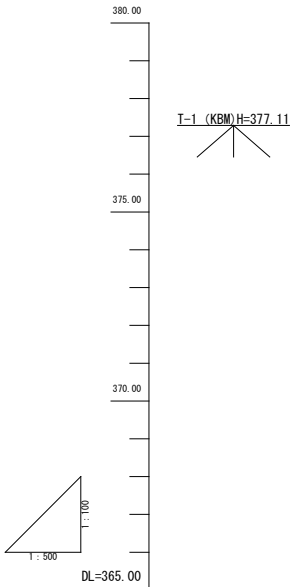
工事数量総括表

頁0 -0002

[illegible]

図面番号	2 / 4	縮尺	図示	
工種	河川浚渫工事			
種別	縦断図		番号	1 / 1
路線 河川	名	準用河川吉田川		
工事箇所	三原市久井町江木			
三 原 市				

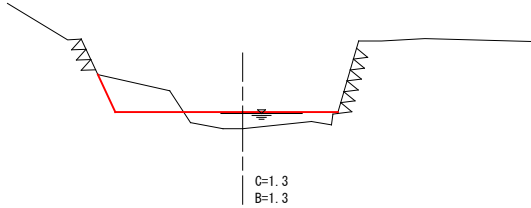
河川浚渫工事 L=260m



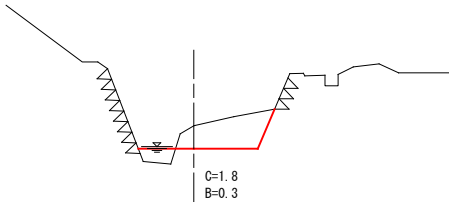
勾配														
計画高	372.92	373.06	373.19	373.33	373.46	373.60	373.73	373.87	374.00	374.14	374.28	374.40	376.10	376.48
盛切高	0.44	-0.39	0.19	-0.60	0.20	0.20	0.28	-0.14	-0.68	-0.41	-0.60	-1.20	-0.14	-0.12
地盤高	372.48	373.45	373.00	373.93	373.26	373.40	373.45	374.01	374.68	374.55	374.88	375.60	376.24	376.60
追加距離	0.00	20.00	40.00	60.00	80.00	100.00	120.00	140.00	160.00	180.00	200.00	218.00	240.00	260.00
点間距離	0.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	18.00	22.00	20.00
測点番号	NO. 0	NO. 1	NO. 2	NO. 3	NO. 4	NO. 5	NO. 6	NO. 7	NO. 8	NO. 9	NO. 10	NO. 10+18.00	NO. 12	NO. 13

図面番号	3 / 4	縮尺	S=1:100
工種	河川浚渫工事		
種別	横断図	番号	1 / 2
路線 河川	名	準用河川吉田川	
工事箇所	三原市久井町江木		
三 原 市			

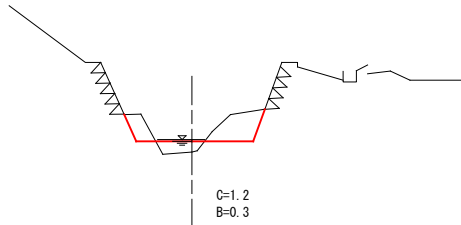
D=20.000
NO. 0
GH=372.48
FH=372.92



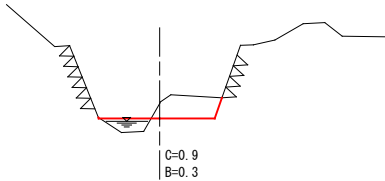
D=20.000
NO. 3
GH=373.93
FH=373.33



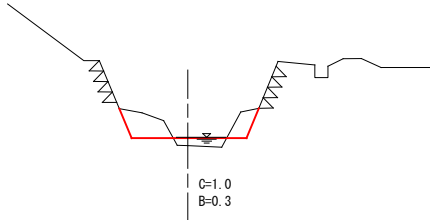
D=20.000
NO. 6
GH=373.45
FH=373.73



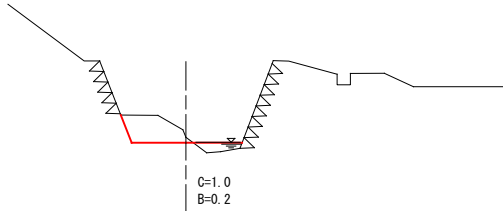
D=20.000
NO. 1
GH=373.45
FH=373.06



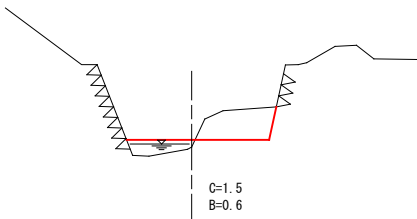
D=20.000
NO. 4
GH=373.26
FH=373.46



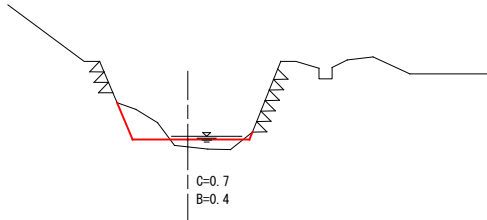
D=20.000
NO. 7
GH=374.01
FH=373.87



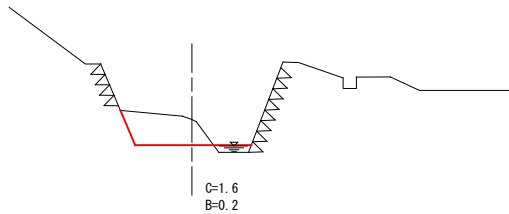
D=20.000
NO. 2
GH=373.00
FH=373.19



D=20.000
NO. 5
GH=373.40
FH=373.60

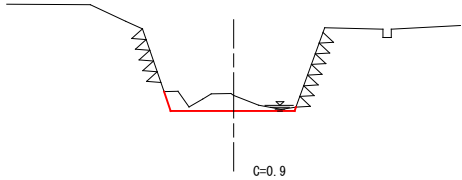


D=20.000
NO. 8
GH=374.68
FH=374.00



図面番号	4 / 4	縮尺	S=1:100
工種	河川浚渫工事		
種別	横断図	番号	2 / 2
路線 河川	準用河川吉田川		
工事箇所	三原市久井町江木		
三原市			

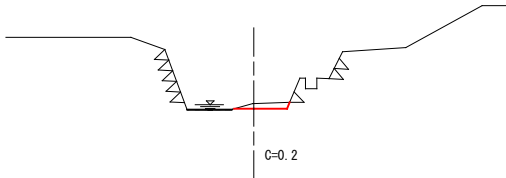
D=20.000
NO. 9
GH=374.550
FH=374.139



DL=370.000

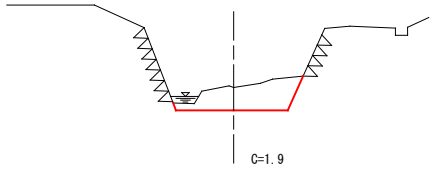
D=22.000
NO. 12
GH=376.240
FH=376.103

C=0.0
13.0



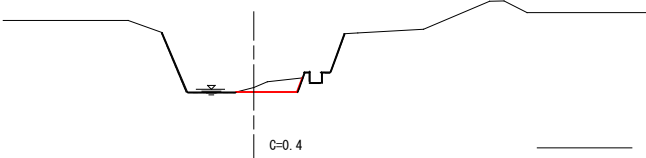
DL=375.000

D=20.000
NO. 10
GH=374.880
FH=374.275



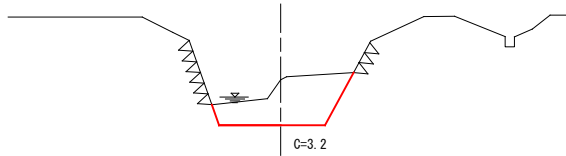
DL=370.000

D=20.000
NO. 13
GH=376.600
FH=376.480



DL=375.000

D=18.000
NO. 10+18.0
GH=375.600
FH=374.397



DL=370.000

15.0
C=0.0

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 68 三原市(久井) 00-06.11.01(0)		凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	01 河川工事 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 03 補正しない		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
築堤・護岸					Y1A01 レベル1
	1	式			
河川土工					Y1A0101 レベル2
	1	式			
掘削工					Y1A010101 レベル3
	1	式			
掘削 土砂 土留方式無し 障害無し					Y1A01010101 レベル4
	300	m3			
床掘り 土砂 平均施工幅1m以上2m未満 土留方式無し 障害無し					SPK24040015 00
	300	m3			単第0 -0001 表
埋戻工					Y1A010103 レベル3
	1	式			
埋戻 土砂					Y1A01010301 レベル4
	70	m3			
積込(ルーズ) 土砂 平均施工幅1m以上2m未満					SPK24040007 00
	70	m3			単第0 -0002 表

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
残土処理工					Y1A010108 レベル3
	1	式			
土砂等運搬 土砂					Y1A01010802 レベル4
	230	m3			
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間無し 距離6.0km以下(5.0km超)					SPK24040002 00
	230	m3			単第0 -0003 表
残土等処分					Y1A01010803 レベル4
	230	m3			
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
処分費					F000000100 00
	230	m3			
仮設工					Y1A0115 レベル2
	1	式			
工事用道路工					Y1A011501 レベル3
	1	式			
敷鉄板 22×1524×3048,802kg/枚					Y1A01150104 レベル4
	383	m2			

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
敷鉄板設置					S1050041 00
	383	m2			単第0 -0004 表
敷鉄板撤去					S1050043 00
	383	m2			単第0 -0006 表
敷鉄板賃料 22×1524×3048,802kg/枚 賃貸期間7日					S1050029 00
	85	枚			単第0 -0007 表
* * 直接工事費 * * #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
運搬費					Z0004
運搬費					YZZ04 レベル2
	1	式			
運搬費					YZZ04001 レベル3
	1	式			
仮設材運搬費					YZZ04001004レベル4
	68.2	t			
仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 運搬距離 3.8km 製品長 12m以内					S1000007 00
	1	式			単第0 -0008 表

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 共通仮設費計 * *					
* * 純工事費 * *					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 工事原価 * *					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
一般管理費計					
* * 工事価格 * *					

本工事費 内訳表

頁0 -0006

[illegible]

施工単価表

床掘り
土砂 平均施工幅1m以上2m未満
機械構成比: 20.36% 労務構成比: 65.67% 材料構成比: 13.97% 市場単価構成比: 0.00%
SPK24040015 土留方式無し 障害無し
1 m3 当り
標準単価: 281.39000

単第0 -0001 表

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックハウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	20.36%		バックハウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00066 KTPT00066
運転手(特殊)	65.67%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	13.97%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=1 土留方式無し E=1 -(全ての費用)			B=2 平均施工幅1m以上2m未満 D=1 障害無し		

施工単価表

積込(ルーズ)
土砂
機械構成比: 28.47% 労務構成比: 58.52% 材料構成比: 13.01% 市場単価構成比: 0.00%

SPK24040007
平均施工幅1m以上2m未満

単第0 -0002 表
1
標準単価: 295.92000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排1 山積0.45/平積0.35m3	28.47%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排1 山積0.45/平積0.35m3		MTPC00010 MTPT00010
運転手(特殊)	58.52%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	13.01%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂			B=3 平均施工幅1m以上2m未満		

施工単価表

頁0 -0009

土砂等運搬

SPK24040002

單第0 -0003 表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離6.0km以下(5.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 24.45% 勞務構成比:

63.42%

材料構成比: 12.13%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

1,943.10000

代表機材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		24.45%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)		63.42%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油		12.13%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価				積算単価		EP001
A=2 C=1 F=28	小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 距離6.0km以下(5.0km超)			B=5 D=1 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) DID区間無し		

施工単価表

頁0 -0010

敷鉄板設置

S1050041

單第0 -0004 表

100

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0011

機-28_バックホウ運転(賃料)
クレーン付2.9t吊 山積0.8m3

S9035

單第0 -0005 表

目 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0012

敷鉄板撤去

S1050043

單第0 -0006 表

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0013

敷鉄板賃料

S1050029

單第0 -0007 表

$$\underline{22 \times 1524 \times 3048, 802 \text{kg/枚}}$$

貸貸期間7日

枚 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0014

仮設材等(鋼矢板, H鋼, 覆工板, 敷鉄板等)運搬	S1000007
運搬距離 3.8km	製品長 12m以内

單第0 -0008 表

1 式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0015

基本運賃

S1000009

單第0 -0009 表

運搬距離 3.8km

製品長 12m以内 運搬質量 68.2t

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0016

積込み,取卸しに要する費用

S1000009

單第0 -0010 表

式 当り

[illegible]

令和6年度 河川浚渫事業

工 事 費 内 訳

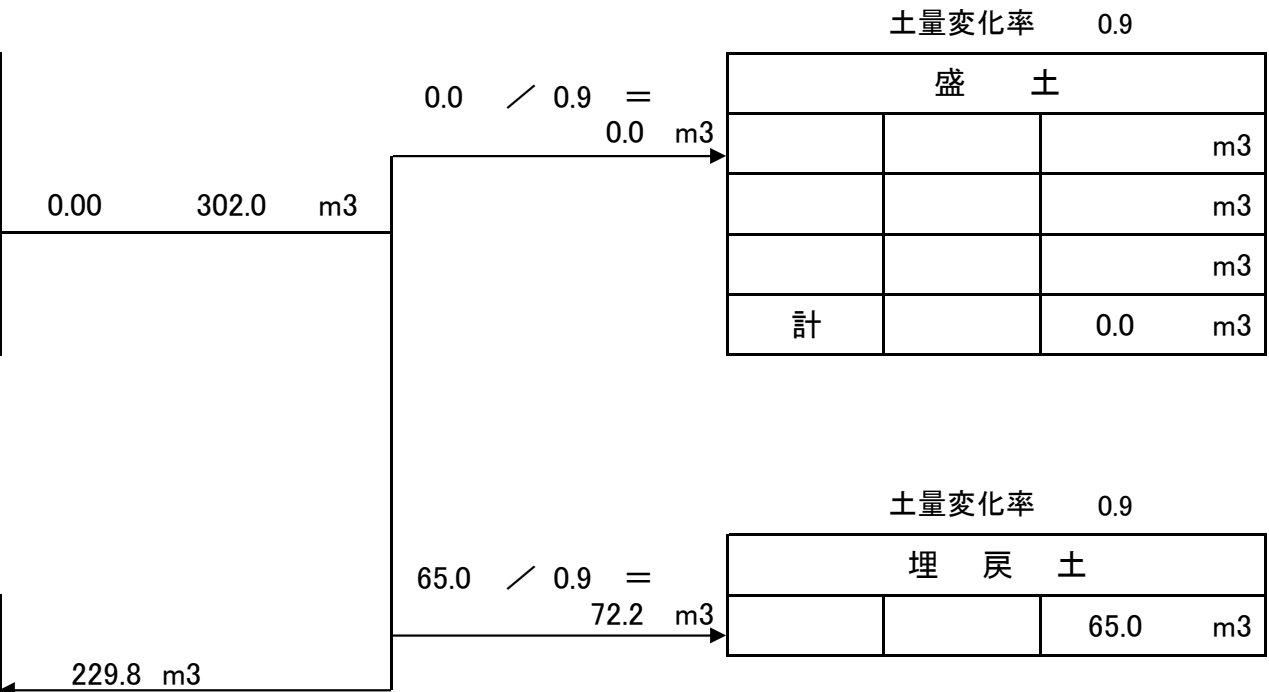
準用河川吉田川

費 目	工 種	種 別	細 別	規 格	単位	計上数量	数量	摘 要
本工事費	河川土工(浚渫)							
	掘削工							
		掘削	BH0.45	砂質土	m3	300	302.0	
		埋戻		砂質土	m3	70	65.0	
	残土							
		運搬	DT4t	砂質土	m3	230	229.8	
		処分	DT4t	砂質土	m3	230	229.8	
	仮設工							
		敷鉄板	撤去・設置	22×1,524×3,048	m2	383	382.5	802kg/枚
			運搬	22×1,524×3,048	枚	85	85.0	68.2t

土量配分表

掘削土			
掘削	砂質土	302.0	m3
計		302.0	m3

残土			
計	砂質土	229.8	m3



準用河川吉田川 河川土工 計 算 書 (1 / 3)														
測 点	距 離	機械掘削C(SF)			埋め戻し									摘 要
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	
NO. 0		1.3			1.3									
NO. 1	20.0	0.9	1.10	22.0	0.3	0.80	16.0							
NO. 2	20.0	1.5	1.20	24.0	0.6	0.45	9.0							
NO. 3	20.0	1.8	1.65	33.0	0.3	0.45	9.0							
NO. 4	20.0	1.0	1.40	28.0	0.3	0.30	6.0							
NO. 5	20.0	0.7	0.85	17.0	0.4	0.35	7.0							
NO. 6	20.0	1.2	0.95	19.0	0.3	0.35	7.0							
NO. 7	20.0	1.0	1.10	22.0	0.2	0.25	5.0							
NO. 8	20.0	1.6	1.30	26.0	0.2	0.20	4.0							
NO. 9	20.0	0.9	1.25	25.0	0.0	0.10	2.0							
NO. 10	20.0	1.9	1.40	28.0										
NO. 10 + 18	18.0	3.2	2.55	45.9										
	3.0	0.0	1.60	4.8										
	6.0	0.0												
NO. 12	13.0	0.2	0.10	1.3										
NO. 13	20.0	0.4	0.30	6.0										
合 計	260.0			302.0			65.0							

準用河川吉田川 仮設工 計 算 書 (2 / 2)														
測 点	距 離	敷鉄板												摘 要
		幅	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	
NO. 0		1.5												
NO. 1	20.0	1.5	1.50	30.0										
NO. 2	20.0	1.5	1.50	30.0										
NO. 3	20.0	1.5	1.50	30.0										
NO. 4	20.0	1.5	1.50	30.0										
NO. 5	20.0	1.5	1.50	30.0										
NO. 6	20.0	1.5	1.50	30.0										
NO. 7	20.0	1.5	1.50	30.0										
NO. 8	20.0	1.5	1.50	30.0										
	5.0	1.5	1.50	7.5										
		1.5												
NO. 9	10.0	1.5	1.50	15.0										
NO. 10	20.0	1.5	1.50	30.0										
NO. 11	20.0	1.5	1.50	30.0										
NO. 12	20.0	1.5	1.50	30.0										
NO. 13	20.0	1.5	1.50	30.0										
合 計	255.0			382.5	85.0	枚								

位置図



この地図は、国土地理院地図を使用したものである。